



令和7年3月28日15時～16時半

京都発脱炭素ライフスタイル推進チーム
～2050京創ミーティング～
第7回会議

本日の流れ

開会（5分）

－ 挨拶（京都市 田中地球環境・エネルギー担当局長）

これまでの振り返り（40分）

- ・ これまでの取組
- ・ 取組の成果
- ・ 補足や振り返りについてコメント

今後の展望（10分）

- ・ 2050京創プラットフォーム

皆様から今後に向けての一言（30分）

※事務局メンバーも一言！

閉会（5分）

－ 挨拶（京都市環境保全活動推進協会 井上次長）

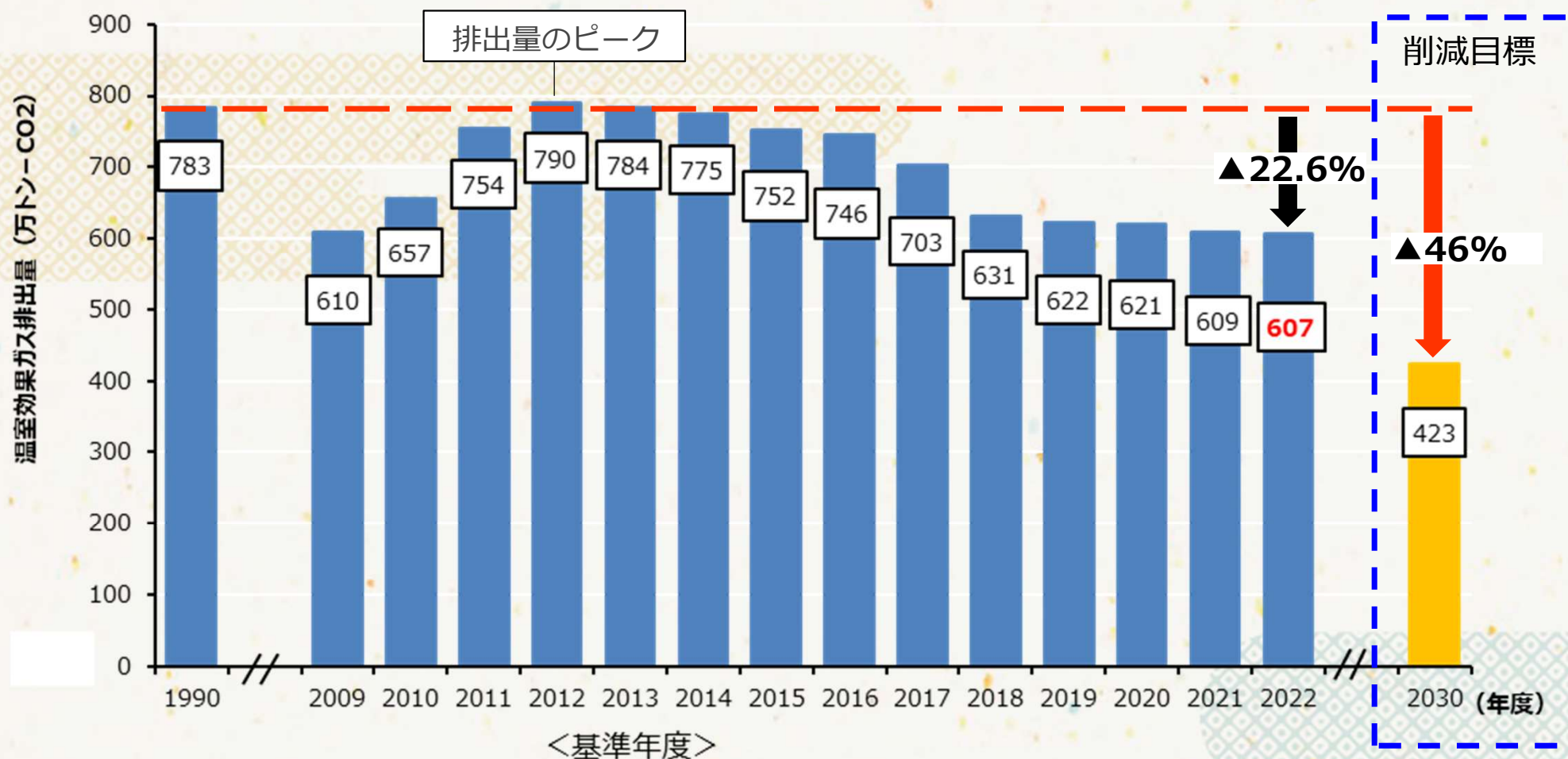
本日の会議の趣旨

- ①これまでの取組の振り返り
- ②推進チーム会議やWG会議を
2050京創プラットフォームへ移行するに
あたっての説明
- ③新たな枠組みである「2050京創プラットフォーム」
への移行に向けた意見交換、
今後の皆様の役割やご協力をお願いしたいこと



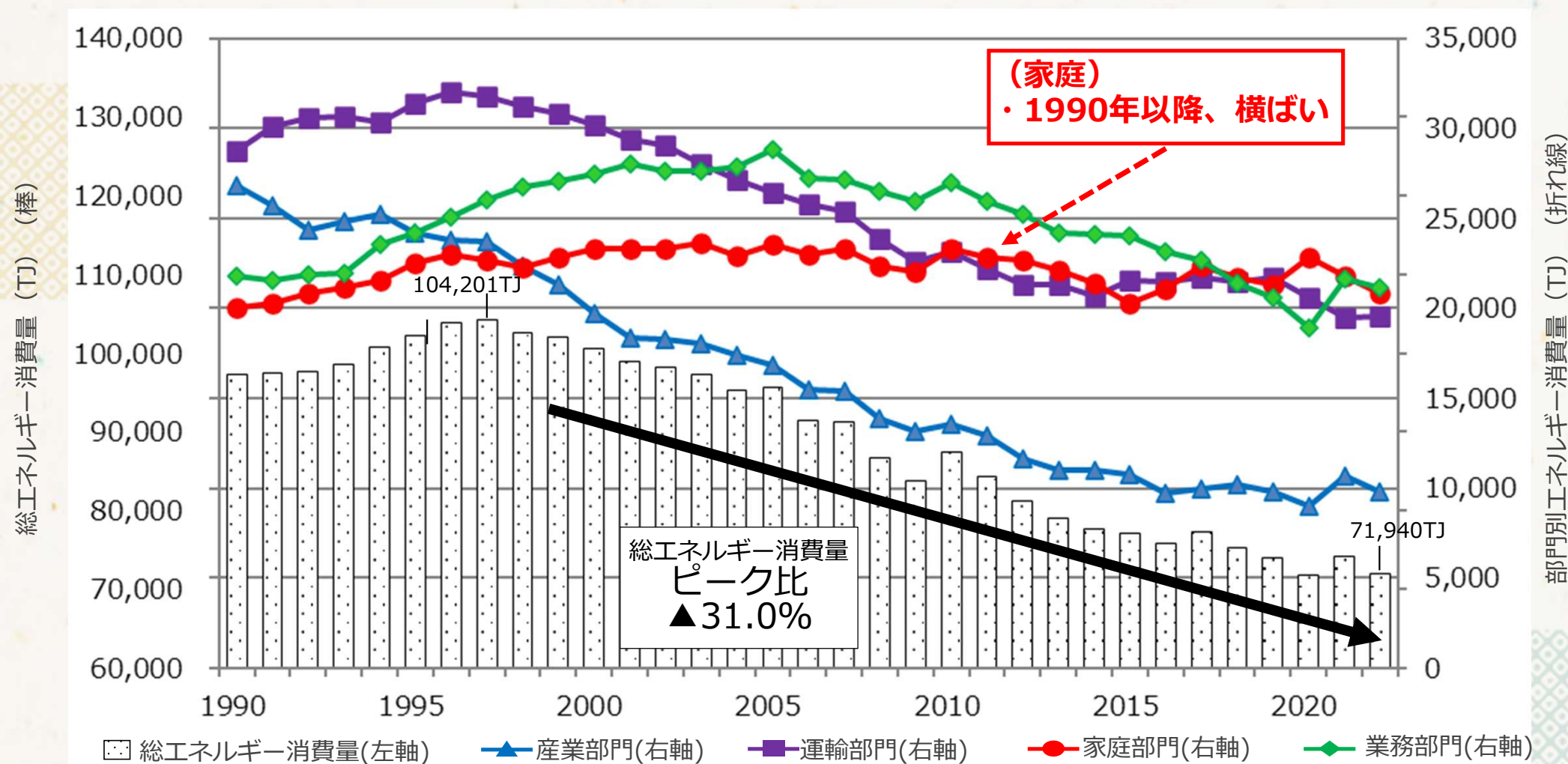
課題 | 温室効果ガス排出量

606.9万トン-CO₂（2022年度）：2013年度比で**22.6%削減**



課題 | エネルギー消費量

71,940TJ (2022年度) : 2013年比で9.0%削減



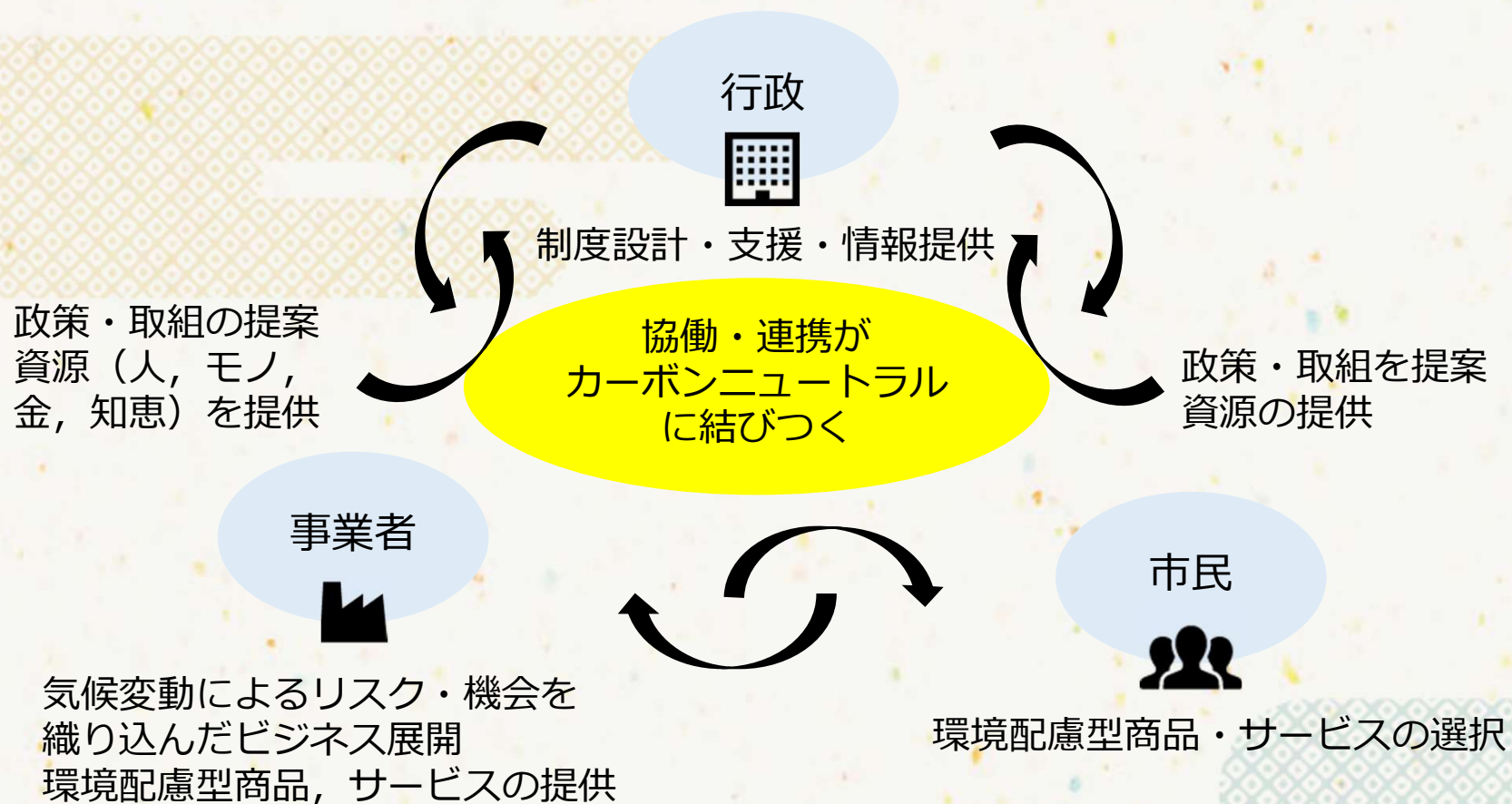


2050年CO2ゼロに向けて

推進チーム第1回会議の資料より



市民，事業者，行政が協働・連携した**大変革**が必要



“大変革”を目指して取り組んできたあゆみ

R3.9

R4.10

R7.3

令和7年度～

第1フェーズ

推進チーム

ビジョン等の構築

WG

プロジェクト案の検討

市民参加を促す取組

市民WSの開催

脱炭素ライフスタイルビジョンの構築

第2フェーズ

推進チーム

ビジョン等の発信

WG

プロジェクトの創出・実証

市民参加を促す取組

市民WS等の開催

<実績>

- ・プロジェクト数：3件（2022年度）⇒20件（2024年度）
- ・市民の参加者数：69,653人（2024年度末時点）
- ・事業者の連携数：20社（2022年度）⇒648社（2024年度）
- ・HP年間PV数：148,000件（2024年12月末時点）

第3フェーズ

2050

京創プラットフォーム

市民・事業者・行政の
協働を進める

行動層の増加

（脱炭素ライフスタイルに取り組む人）

これまでの取組 | 第1フェーズ

推進チーム会議の開催（令和3年9月～令和4年7月）



推進チームからの2050年に向けたキャッチコピー



ビジョンの策定（令和4年10月）

京都の自然と共生する文化やしまつのことを礎に
自分らしい持続可能な暮らしの選択で実現する
カーボンニュートラルで豊かな社会



ていねいな暮らし



スマートな暮らし



結う暮らし

脱炭素ライフスタイルの転換を呼び掛けるキャッチコピー



これまでの取組 | 第2フェーズ

ビジョンの発信

公式HPの開設 (R4.10~)

2050 MAGAZINE

Vision

私たちが目指す未来



DO YOU KYOTO? 2050

変わろう、今。

変えよう、未来。

市政広報版等での啓発



DO YOU KYOTO? 2050

変わろう、今。

変えよう、未来。



プロジェクト創出・実証



普及啓発

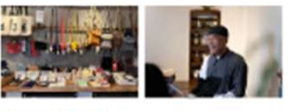
市民WS (年6回)



市民ライター養成講座 (R4,5年度)

地域

産業





京都の未来を語る

京都の未来を語る

取組の成果の発信

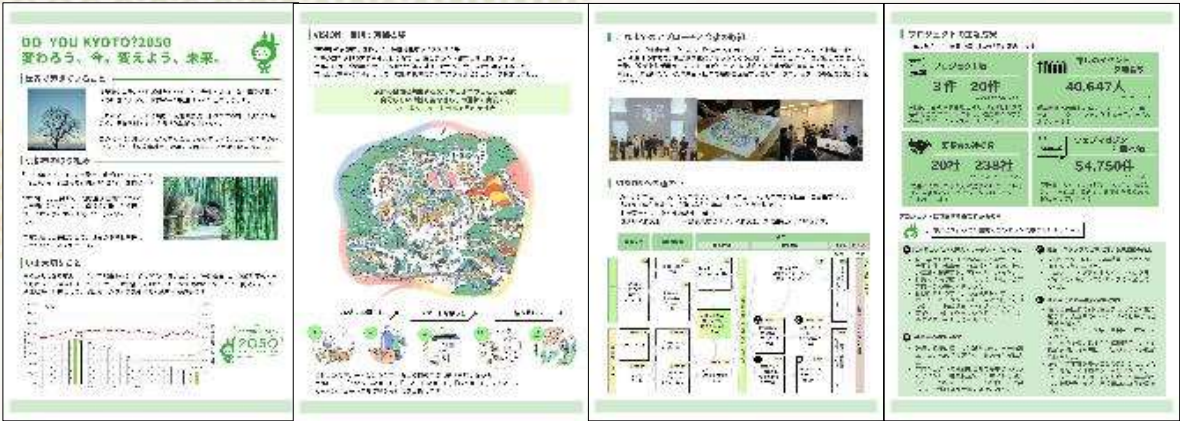
2050京創ミーティングOPEN DAYの開催

- 1月23日（木）14時～17時半@QUESTION
- ・トークイベント「都市とエネルギー～暑くて寒い！京都の住まい～」
- ・プロジェクト紹介、ポップアップ展示



プロジェクト成果の発信

事業者向け



市民向け



取組の成果①



プロジェクト数

3件→20件

※2022年度から2024年度

実証終了後の事業化を目指し、行政と協働で進めてきたプロジェクトは、脱炭素につながる製品やサービスを生み出していきます！



市民のイベント
参加者数

69,653人

※2024年度末時点

環境問題への関心に留まらず、イベント等へ参加し、アクションを実践する市民の数が増えています！



事業者の連携数

20社→648社

※2022年度から2024年度

取組に賛同した事業者の連携が広がっています。連携が進むことで新たなプロジェクトも生まれています！



ウェブマガジン
累計PV数

約 148,000件

※2024年12月末時点

脱炭素アクションの実践につながる情報など、いま京都に起きている変化を多くの市民に届けています！

取組の成果②

プロジェクト参画企業の声

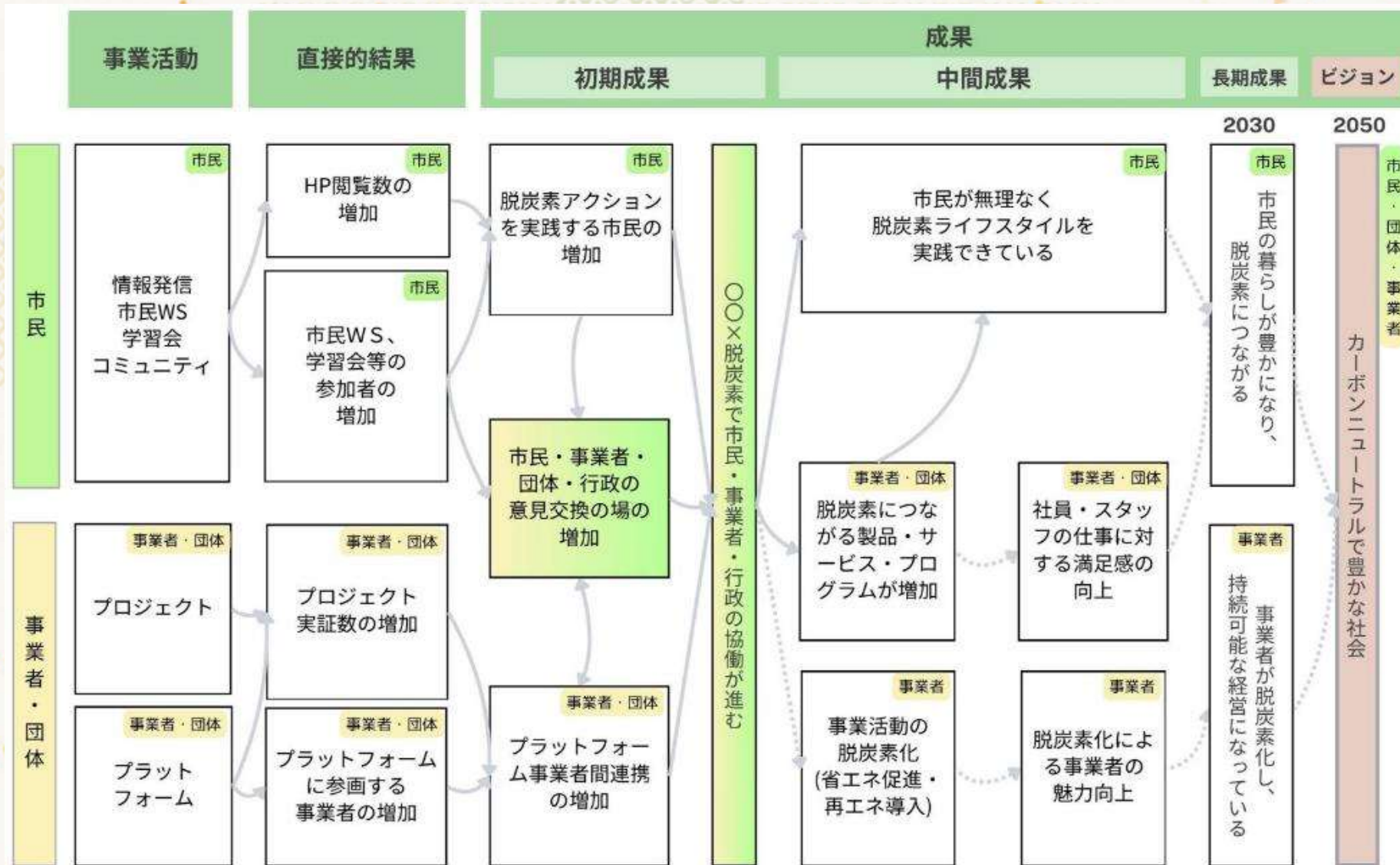
自社事業だけでは関わる機会のなかった、
大学や他の事業者との連携が生まれ、
新しい情報や新規事業の可能性が広がった。

行政と協働で取り組むことで、
地域へのアプローチが進めやすかった。

プロジェクトの取組を自社でも取り入れることになり、
社員食堂でコンポストを導入した。その結果、メニュー
の見直しまで発展し、食品ロスが大幅に削減された。

環境問題に取り組む事業者としての認知が広がり、
大企業のイベント等にも呼ばれる機会が増えた。
イベントで出会った学生が自社に就職してくれた。

VISIONへの道のり



2030年の目標・指標

1世帯当たりCO₂排出量 ▲30.5%※

※ 2019年度比

(単位):万トン-CO₂

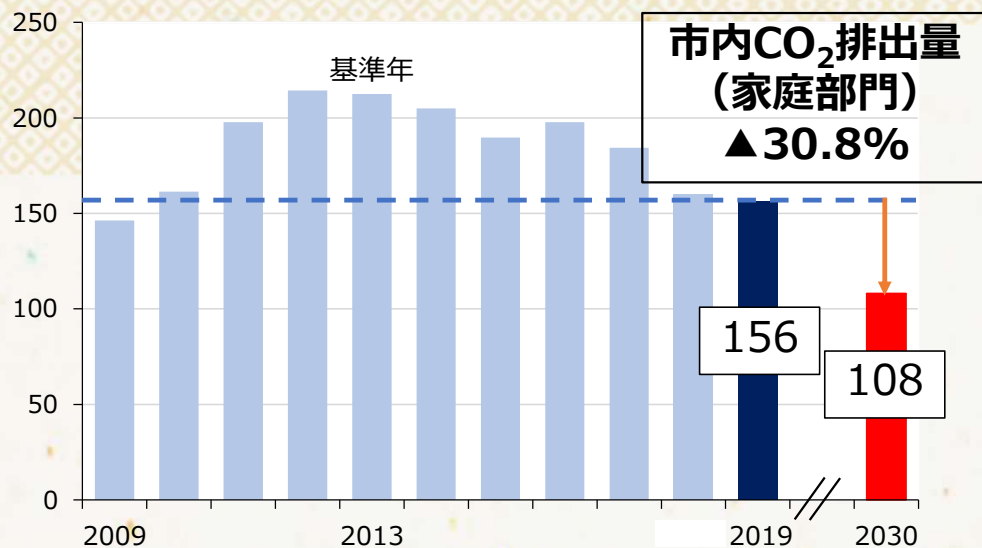


図1. 家庭部門の温室効果ガス排出量の推移

1世帯当たりエネルギー消費量 ▲20.7%※

※ 2019年度比

(単位):TJ

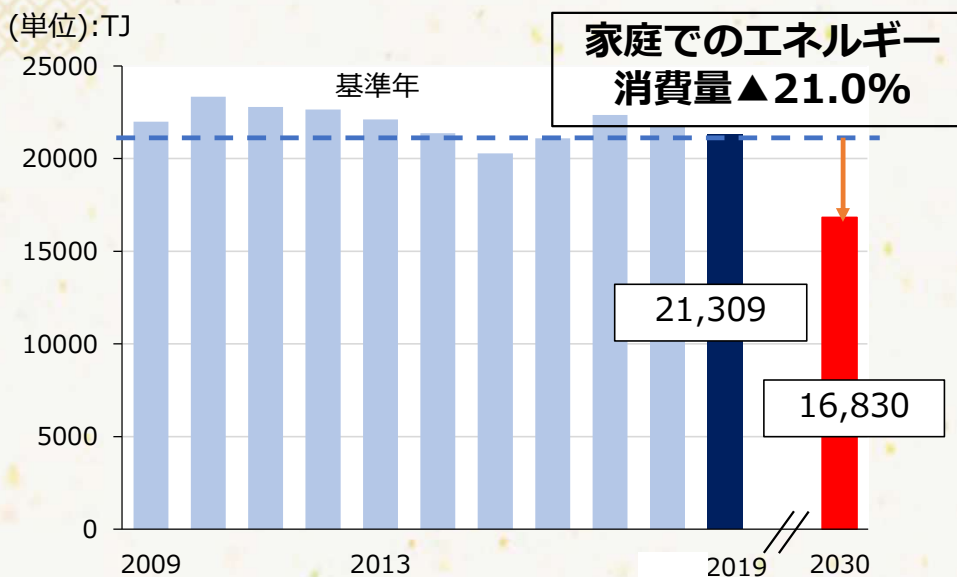
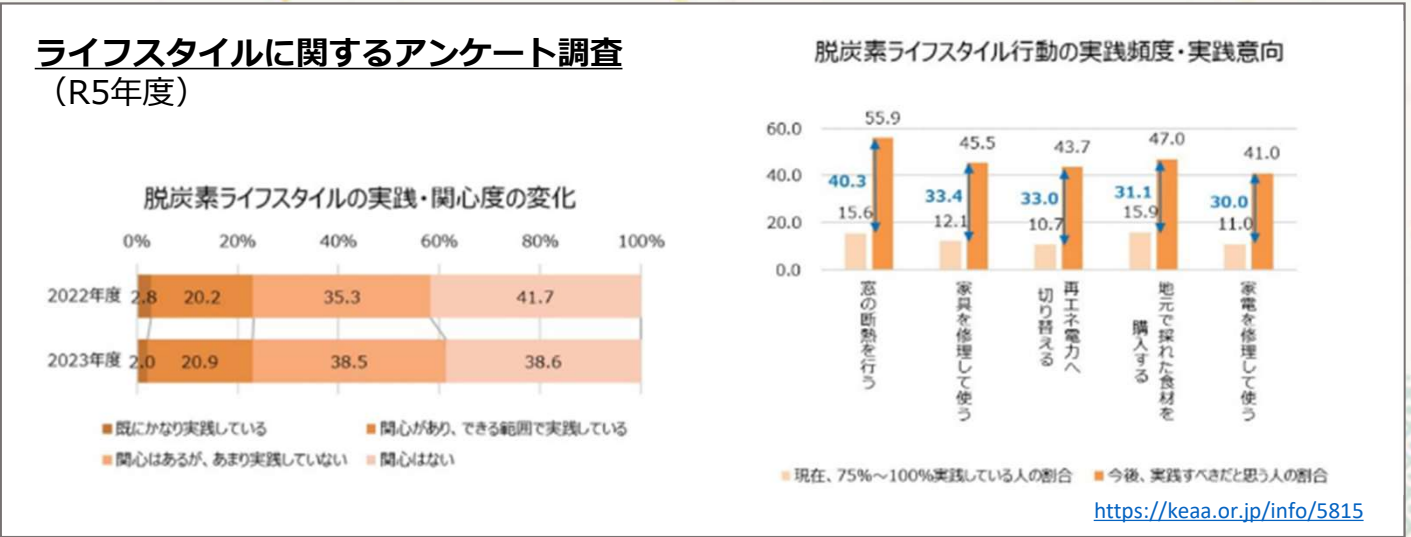
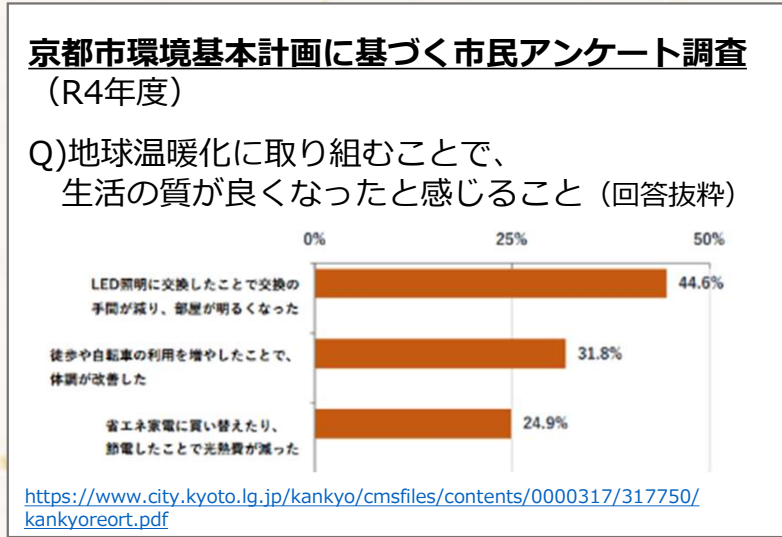


図2. 家庭部門のエネルギー消費量の推移

参考 京都市地球温暖化対策計画<2021-2030>

VISIONへの道のり（指標①）

		初期成果	中間成果
市民	項目	脱炭素アクションを実践する市民の増加	市民が無理なく脱炭素ライフスタイルを実践できている
	指標	実践層の割合の向上	・ 実践による生活の質の向上の実感度割合の向上 ・ 実践意向と実践頻度の差の減少
	測定方法	・ 京都市環境基本計画に基づく市民の皆様の実感度アンケート調査 ・ （公財）京都市環境保全活動推進協会実施によるアンケート調査	



VISIONへの道のり（指標②）

		初期成果	中間成果
事業者・団体	項目	プラットフォーム事業者間連携の増加	①脱炭素につながる製品・サービスの増加 ②事業活動の脱炭素化 ③社員の仕事に対する満足感の向上 ④脱炭素化による事業者の魅力向上
	指標	事業者間連携の増加	①脱炭素につながる製品・サービスの増加 ②事業活動におけるCO2排出量の削減 ③社員のモチベーション向上 ④人材獲得力の向上
	測定方法	プラットフォーム参画事業者へのヒアリング等	（公財）京都市環境保全活動推進協会実施によるアンケート調査 等

（参考）環境省 脱炭素ポータル HPより

脱炭素経営に取り組む5つのメリット

1

優位性の構築

2

光熱費・燃料費の低減

3

知名度・認知度向上

4

社員のモチベーション・人材獲得力向上

5

好条件での資金調達

脱炭素経営が経営メリットに繋がるのか！
 脱炭素経営に興味が出てきたぞ。

ライフスタイルに関するアンケート調査
 （R6年度）

（質問例）

- ・ 職場を選ぶ際、会社の脱炭素の取組を重視するか
- ・ 勤務先における脱炭素の取組内容

ここで皆さんより振り返りのコメントをいただきたいと思います！

どんな想いで関わっていたか、悩んだこと、良かったこと、課題点など、京創ミーティング（推進チーム、WG）のメンバーとして、これまでの振り返りをお聞かせください。



今後の展望

R3.9

R4.10

R7.3

令和7年度～

第1フェーズ

推進チーム

ビジョン等の構築

WG

プロジェクト案の検討

市民参加を促す取組

市民WSの開催

脱炭素ライフスタイルビジョンの構築

第2フェーズ

推進チーム

ビジョン等の発信

WG

プロジェクトの創出・実証

市民参加を促す取組

市民WS等の開催

<実績>

- ・プロジェクト数：3件（2022年度）⇒20件（2024年度）
- ・市民の参加者数：70,551人（2024年度末時点）
- ・事業者の連携数：20社（2022年度）⇒238社（2024年度）
- ・HP年間PV数：148,000件（2024年12月末時点）

第3フェーズ

2050

京創プラットフォーム

市民・事業者・行政の
協働を進める

行動層の増加

「2050京創ミーティング」に関わってくださった皆様へ

推進チーム会議、消費行動・住まい・つながりWG会議は
今後2050京創プラットフォームに移行します！

2050京創プラットフォームに参画する事業者を紹介してください！

- ・ビジョンに賛同していただける方
- ・脱炭素ライフスタイルへの転換につながるアクション実践を推進していただける方

①PJの推進

アクション実践につながる
仕掛け（プロジェクト）の
拡大・新規提案

- ・他事業者との連携
- ・新規取組の提案



社会実装に向けた実現性、有効性、
収益性等が高い取組は事務局による
伴走支援を実施

②情報発信

ビジョンやPJ等の個別取組
の情報発信の連携



京都市小学校給食献立表（教育委員
会）のコラム欄への助言
（推進チーム笹岡様）

③取組への助言

交流会やフォーラムを通じ
て取組状況を共有・確認
⇒引き続き、ビジョンに
向けた取組内容について
ご助言をお願いします！



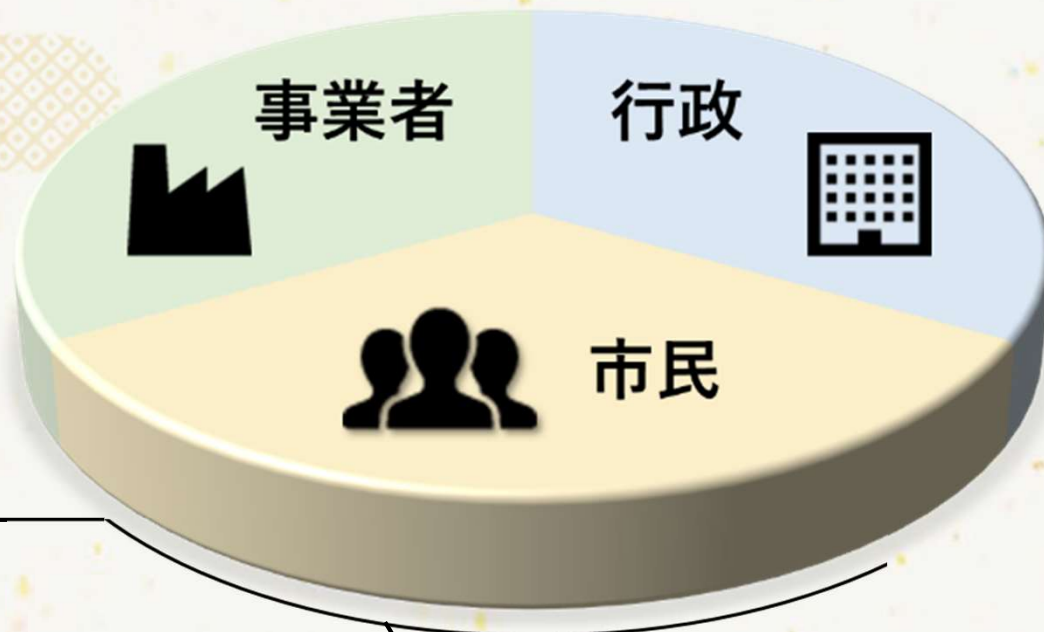
2050京創プラットフォーム

2050京創プラットフォームは、**市民・事業者・行政が交ざり合い、協働・連携を促していく**ための場です。

2050京創プラットフォーム

「**〇〇×脱炭素**」な取組の広がりから、

- ・市民生活の豊かさ、
 - ・事業活動の活性化、
 - ・地域のつながり
- を実現



事業者間の
マッチング支援



新たなビジネスPJの
創出促進



多業種間での交流の
機会・場の創出

2050京創プラットフォーム

	これまで	R7年度～
イメージ		
構成員	・ 推進チームメンバー ・ テーマ別WGメンバー	2050京創プラットフォーム参画メンバー (推進チームメンバー、テーマ別WGメンバー + 新メンバー)
プロジェクト 創出	テーマ別WGメンバーからの提案 (テーマ別WG会議、推進チーム会議)	参画メンバーからの提案

よりオープンな場で事業者間連携を促進し、新しいプロジェクトを創出します！

2050京創プラットフォーム（今後の予定）

4月

2050京創プラットフォーム募集開始

7月頃

第1回 交流会〈事業者向け〉

事業者募集期間
4/1~6/30

12月頃

2050京創フォーラム（仮）

〈市民＋事業者向け〉

3月頃

第2回 交流会〈事業者向け〉

R8年度 4月～

2050京創プラットフォーム第2期募集開始

連携・協働を希望する事業者のご紹介は随時承ります！

2050京創プラットフォーム

●参画事業者に期待すること（事業者の取組）

ビジョンへの 賛同・発信	京都発脱炭素ライフスタイルのビジョンに賛同し、 「2050京創プラットフォーム」参画事業者としての 取組をロゴマーク等を活用して発信	(発信イメージ) 
アクションの実践	・市民のアクション実践につながる事業活動や取組の推進 ・社員等へのアクション実践の呼びかけ	
プロジェクトへの 参加・立ち上げ	<既存プロジェクトとの連携> 交流会等のマッチング支援を通じ、既存プロジェクトの取組を拡大・加速 <新規プロジェクトの立ち上げ> 市民のアクション実践につながる新たな仕掛け（プロジェクト）づくり	

「2050京創ミーティング」に関わってくださった皆様へのお願い

「2050京創プラットフォーム」の“応援団”として
これからもよろしくお願いします！



2050京創プラットフォームに参画する事業者を紹介してください！

- ・ビジョンに賛同していただける方
- ・脱炭素ライフスタイルへの転換につながるアクション実践を推進していただける方

①PJの推進

アクション実践につながる
仕掛け（プロジェクト）の
拡大・新規提案

- ・他事業者との連携
- ・新規取組の提案

②情報発信

ビジョンやPJ等の個別取組
の情報発信の連携

③取組への助言

交流会やフォーラムを通じ
て取組状況を共有・確認
⇒引き続き、ビジョンに
向けた取組内容について
ご助言をお願いします！

最後に皆様より、

**今後の京創プラットフォームへの期待や
アドバイスをいただきたいと思います。**





ご参加ありがとうございました！